

ハンズオンセミナー 1  
『皮膚外科手術の初歩と応用』

11月13日(土) 9:15~11:15 ハンズオン会場① 42F〔本館〕高尾

オーガナイザー

帆足 俊彦 (日本医大)

チューター

石川 武子 (帝京大)

平林 恵 (帝京大溝口病院)

宮川 卓也 (東京大)

前田進太郎 (金沢大)

加藤 潤史 (札幌医大)

伊藤 周作 (日立総合病院)

中村 善雄 (慶應義塾大)

大芦 孝平 (埼玉県立がんセンター)

石川 雅士 (埼玉県立がんセンター)

上原 治朗 (がん・感染症センター都立駒込病院)

開催日時

11月13日(土) 9:15~11:15

テーマ

皮膚外科手術の初歩と応用

内容

皮膚科における外科手技の基本は切開と縫合である。対象が大きくなると、正しい層での剥離、出血のコントロールも問題になってくるが、まずは切開と縫合である。本ハンズオンセミナーでは、外科的手技に慣れていない先生方を対象として、豚皮を用いて切開と縫合の基本手技を修得して頂く。ある程度できる方も参加されると思われるが、そういう方は「安定して切開、縫合ができる」ところを目指して頂きたい。右利きの術者の場合、右手でメスや持針器を持つわけである。右手の動作は勿論重要であるが、実は右手の影となりサポートする左手の役割が非常に重要である。その辺りの、いわゆる「コツ」を修得して頂きたいと思う。余力のある先生方は皮弁形成に挑戦して頂いても構わない。

協力 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 エチコン事業部